

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 関高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和8年1月29日(木) 13時30分～15時10分
- 3 開催場所 関高等学校校長室
- 4 参加者

| | | |
|-----|--------|------------------|
| 会長 | 大野 正博 | 朝日大学法学部教授 |
| 副会長 | 村井 義史 | 本校同窓会副会長 |
| 委員 | 福田 恵介 | 福田刃物工業株式会社取締役 |
| | 平田 久美子 | 平田建設株式会社取締役(ご欠席) |
| | 衣斐 七海 | 関市産業経済部観光課(ご欠席) |
| | 檀上 達也 | 本校PTA会長 |
| 学校側 | 中原 泰男 | 校長 |
| | 堀 卓也 | 教頭 |
| | 植田美智留 | 教頭 |
| | 岸 正美 | 事務部長 |
| | 進 晶彦 | 教務主任 |
| | 廣瀬 志穂 | 生徒指導主事 |
| | 田代 寿文 | 進路指導主事 |
| | 林 直樹 | 研究推進部長 |
| | 松野 恭介 | 特別活動部長 |

5 会議の概要(協議事項)

各分掌に関して今年度の事業に関する自己評価と次年度に向けた改善点について報告を行った。また、学校長より「スクールポリシー」の文言に関して一部訂正の提案を行い、参加委員全員の同意を得られた。その後、令和8年度に向けた本校の学校活動全般や諸問題について質疑応答・意見交換を行った。

意見1 勉強だけではなく、部活動や関高祭など、自主性と高い能力を持つ生徒が多いエネルギーのある学校である。生徒の活動を金銭面で支えているPTAとしても、3月の合格者説明会においては新入生保護者の皆様100%入会の一助になりたい。教育の質を落とすことのないよう、本日提案された改善案について、前向きに取り組んでほしい。

意見2 関高の先生方はがんばっている。運営協議会の我々と先生方がワンチームとなり、将来、生徒がよい社会人となり、生涯にわたって元気に楽しく過ごせる人間になってほしい。関高校に対する関心を高めるために、例えば『関高ツアー』等学術系ユーチューブ番組を参考に作ってみても面白いのではないかと。また、学校の中では生徒はどうしても受け身になりがちだが、社会ではよくない環境も自分で変えられる

力が必要。個性を生かして環境を崩せる人材が環境を居心地よく楽しいものにできる。

その意味で、本校の研究推進部は模索しながら生徒と一緒にやっていることがよく分かる。

意見3 先生方はよく努力・工夫しており、生徒も成果を出している。関高校としてのPRや発信についてさらに力を入れ、中学生が体験入学の中で興味深く感じたことや、関高の良さをとりまとめて広くアナウンスしてほしい。

質問1 今年度は「関市子ども条例」について関高生が関わっているが、学校としてなんらかの働きかけをしたのか。

回答1 6月に関市長講演会実施後、市長からの呼びかけに自主的に手を挙げた生徒が8名いる。「子ども・若者会議」を定期的に関っているが、生徒たちは生成AIを活用しながら、模索しながら進めている。「失敗してもよいからファシリテートしてみよう」という声掛けはしているが内心はハラハラしている。

質問2 先日、他県で暴力を伴ういじめ画像がSNS上に出回りニュースになった。それについて県教委から何らかの通達があったか。また、関高生のSNSに対する意識はどうであるか。

回答2 その事件に特化した通達はないが、日頃から情報モラル教育に関しては通知が出ている。
(補記：令和8年2月3日付学安第904号の2にて、上記の件に関する通知があった。)

回答3 本校では大きな案件はないが、SNS上でメッセージをやり取りする中で認識の差により人間関係のトラブルに発展したことはある。軽い気持ちでやってしまうことがないように、日常的な携帯の使い方も含めて指導していきたい。

意見4 学校としても職員としても、取り組みがしっかりとされ、学校が抱えている課題についてもしっかりと把握され適切に検討されている。よい意味で何も言うことはない。ただし、一般的に学校は事案が発覚するまでは指導が行き届いていると思いがちであることは留意しておきたい。現在、社会では中高生のオーバードーズや、暴力的な動画の撮影・拡散について高校生の中で「おもしろい」という感覚があることが問題になっている点も踏まえて、リテラシー教育を今後も意識的に行っていただきたい。

6 会議のまとめ

第3回学校運営協議会では、今年度の総括として各分掌の事業報告を行い、次年度に向けて学校として取り組むべき課題について協議した。少子化が加速する時代を迎えるに当たり、関高校としての特色をどのように打ち出し、また、ふるさとや地域に資する人材を輩出するのみならず、生徒達が生涯に渡り幸せに生きてゆくためにどう育てるのか、学校運営協議会の皆様の温かい応援メッセージとご助言を参考に次年度の学校経営計画及び教育活動の改善に取り組みたい。